

赤外線で高さ調整

松江の小松電機産業

シャッター「門番」改良

産業用ビニールシート

製シャッター製造で大手の小松電機産業（松江市）は、十年ぶりに主力のシートシャッター「門番」を全面改良し、十九日発売する。省エネなどを特徴とし、中国や東南アジアを中心に本格的な海外販売に乗り出す。

「門番KVシリーズ」

で工場や倉庫の出入りに設置する。従来はトラックなどの出入りの際、シャッターを全面的に上げ下げしていたが、新商品は赤外線センサーで通過物の高さを読み取り、開閉部を自動調整する。フレーム部分に専用のシールを張り、空気の通過量を従来の六分の一に抑え、衛生面により配慮した。

省エネや衛生面を重視する食品や電機メーカーが増え、高性能シートシャッターは需要が伸びている。門番は一九八五年に発売、主に国内で十一万台を納めてきた。経済成長が続く中国や東南アジアで販売を強化しようと全面改良した。

高さ三層の標準型で百



小松電機産業が10年ぶりに全面改良した産業用シートシャッター

万円。本年度のシャッターの売り上げは約一割増の五十億円を

目指す。（河野揚）